

授業科目 臨床医学総論 I

【担当教員名】 追手 巍	対象学年	2	対象学科	臨床
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○		

【概要・一般目標：G10】

疾患の成り立ち、各種疾患の病態、特徴について基礎的知識を習得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

理想的な臨床検査技師、臨床工学士になるためには、臨床検査業務、医療機器使用業務を実行するだけでなく、それらの意義を十分理解する必要がある。そのために上述の概要に記した修学が必須である。具体的には、

1. 各種疾患の場となる各臓器・器官の解剖学的特徴を考慮して疾患の成り立ちを説明する。
2. 各種疾患の場となる各臓器・器官の機能的特徴を考慮して疾患の成り立ちを説明する。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	概論（病気の原因、症状、その他）	1,2	講義、担当：追手 巍
2	心臓・循環器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
3	呼吸器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
4	消化器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
5	肝・胆道・膵疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
6	感染症の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
7	血液疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
8	内分泌疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
9	腎・泌尿器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
10	女性生殖器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
11	脳・神経系疾患の概要 運動器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
12	アレルギー性疾患、膠原病、免疫不全症の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
13	代謝・栄養障害の概要 感覚器疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
14	中毒、染色体・遺伝子異常症の概要 皮膚および胸壁の疾患の概要	1,2	講義、担当：追手 巍
15	救急時の対応	1,2	講義、担当：追手 巍

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	臨床医学総論・臨床検査医学総論	奈良 信雄	医歯薬出版	2001・5,400円＋税
参考書	からだの構造と機能	A. シェフラー、S. シュミット	西村書店	1997・4,800円＋税
その他の資料	日本医事新報社			

【評価方法】

提出レポート(20%)、定期試験(80%)

【履修上の留意点】

教科書を用いて、そこに記載されている重要な項目、及び記載されていない重要な追加項目（授業時に筆記させるか追加資料）の知識を正確に理解する。
かつ基本的な用語を指示し、それらを確実に記銘する。
参考書は本教科以外にも解剖、生理学の参考書としても役に立つ内容が豊富なので、購入することを勧める。ただし、図書館に配備してあるので利用して下さい。